



# 高屋西小学校校区住民自治協議会だより

はじめに 高屋西小学校校区住民自治協議会は、平成25年3月に東広島市が取り組む「市民協働のまちづくり」の趣旨に賛同し、平成24年8月に協議会設立のための準備会を立ち上げて、行政の指導・助言のもと、関係各団体代表者や各行政区長と検討を重ねて参りました。この間、校区内全体世帯を対象とした「まちづくりに関するアンケート」調査を実施し多くの有益な提言を受けました。官主導の地域づくりから、「自分達の地域は自分たちで創る」という地域の主体的な考えをもとに、市民と行政の協働で、「住みたい」、「住み続けたい」と思える「素敵なまち」を生み出す『まちづくり』を目指すために地域住民創意の基で設立を計ることができました。

皆様の 一層のご指導とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

住民自治協議会一同

## 西高屋地区の特徴 私たちの町は美しい盆地の中にあります

南に目をやりますと標高453m（白鳥神社）から524m（山頂）の白鳥山の山系が、そして北側には535mの鷹巣山（稲木）から516mの足山（杵原）にかけて連山が西高屋のどこからでも見渡すことができます。南側斜面と北側斜面の山々からわき出た小河川はこの美しい盆地の中を通り、やがて入野川に吸収されながら西から東へと流れています。

標高200mから210mにある入野川流域の平地は昔から湿田に悩まされる事が多く、逆に標高220mから250mほどの丘陵地にある水田は、瀬戸内の気候の影響で降水量も少なく、山から水を引いた多くのため池の水によって耕作され、人々の暮らしを支えてきました。いずれも水には苦勞してきた土地柄でした。しかし温暖な気候に恵まれたこの大地は、大きな自然災害に襲われることなく、約2千に亘る人々の生活を延々と支え続けてきたのです。

## 私たちの町は長い歴史の上にあります

西高屋には、約2千年前の弥生時代の住居跡や石棺が標高240m前後の丘陵地からたくさん発見され、すでに多くの人々が住み始めていたことがわかっています。白鳥山にある白鳥古墳の被葬者は、4世紀後半の大和朝廷と関わりのあるこの地方の首長と見られています。7世紀末には巨大神殿が杵原の西本に造営されていて、全国の考古学者を驚かせました。平安時代になると、高屋は朝廷の大炊寮領としてまた東寺の荘園として、その役割をはたしていました。さらに鎌倉時代末から室町時代の初頭の南北朝期には、僧行賢が多くの石造物をのこしています。

時代を近代に引き戻すと、明治22年町村制が実施せられ、檜山、杵原、大島、中島、宮領、溝口、稲木、郷の8ヵ村を西高屋村としました。明治27年には山陽本線が糸崎と広島間に開通し、大正15年に西高屋駅ができました。明治41年には各村にあった小学校を統合して、中島に西高屋尋常高等小学校が設立され、西高屋の子供は全部ここに通うこととなり、現在の高屋西小学校の前身となりました。さらに時代を進めると、太平洋戦争末期に工場の疎開候補地として駅周辺が開発されるところで終戦となり、戦後その候補地の一つは国鉄（現JR）のバス教習所として広島鉄道学園となり、他の一つは高屋中学校の用地として、また東洋工業（現マツダ株）の住宅団地として活用され、さらに西高屋駅南には町営の住宅が造られたりして、戦争をきっかけに西高屋の土地利用が大きく変化しました。鉄道学園の跡地には、現在広島県の人材育成の指導的役割を担う県立広島中学校高等学校が建設され、素晴らしい教育実践を残しつつあります。

西高屋は広島市のベッドタウンとして、多くの団地が造成されて現在に至っています。

## 高屋西住民自治協議会及びまちづくり推進体制（役員体制等）

会 長 坂田浩二 副会長 富原君友 副会長 井上泰秀 会 計 檜高靖治  
事務局長 岡 哲敏 監 事 田村誠三 監 事 紙 光

各 部 会 長

福 祉 部 会 坂田祐三（西高屋地区社会福祉協議会会長）

青少年育成部会 山下修司（青少年育成東広島市民会議 代表推進員）

体育・健康部会 向原寛二（高屋西小学校区体育振興会会長）

ふるさと部会 池田昭典（元高屋西生涯学習古里づくり協議会会長）

環 境 部 会 兼山俊幸（西高屋地区公衆衛生推進協議会会長）

防災・防犯部会 富原君友（溝口自治会長）

顧 問 高橋幸夫 山下 守 加根佳基 大谷忠幸

地域担当職員 班長 脇坂俊之 副班長 梶永恭明 大森明 内藤善幹



### 各部会の活動計画

6つの部会は、将来像「世代をこえて助け合い、安心して暮らせる、豊かで美しいまち」の実現に向けて。

**福 祉 部 会** テーマ 笑顔で安心して暮らせるまち

目 標 支えあう環境づくり（敬老会・高齢者の見守り、声掛け、地域支援活動）

**青少年育成部会** テーマ 子供の笑顔あふれるまち

目 標 青少年の健全育成と世代間交流づくり（ゆーすふるサンデー、子ども向け教室）

**体育・健康部会** テーマ 仲間と元気で明るく暮らせるまち

目 標 健康と生涯学習（各種スポーツ大会、健康に関する勉強会等）

**ふるさと部会** テーマ 絆とふれあいのあるまち

目 標 まちの魅力づくり（古里まつり、まちづくり討論会）

**環 境 部 会** テーマ 緑に囲まれた美しいまち

目 標 環境の保全・整備（一斉美化作業、花種まき、アダプト活動、歩こう会、救急講習）

**防災・防犯部会** テーマ みんなで支え合う安全なまち

目 標 安全なまちづくり（災害時要援護者支援体制、自主防災組織、通学路点検）

### 【TOPIX】

●住民自治協議会全体会 2回 ・ 総務広報委員会 3回 ・ 3役会（毎週木曜日「定例」）

●災害時要援護者支援協定に関する、協定調印

●25年度市民協働まちづくり活動応援補助事業提案「安全ネットワーク・ディスカバー高屋」

●第1回高屋西小学校区住民自治協議会古里まつり（高屋西小学校 来場者約2000人）

**屋内** 高屋西小学校6年生・組曲白鳥・石川真帆&岡田良ニステージ・舞踊・バンド演奏他

**屋外** 餅つき・多彩なブース・パトカー白バイ・クイズ・キッズコーナー・紅白餅まきなど

▲ 上段 左肩のロゴは、高屋西小学校区住民自治協議会のシンボルマークといたしました。シンボルマークは、昨年の高屋西古里まつりの実施に伴い、住民自治協議会のロゴマークを高屋西小学校及び高屋中学校の児童生徒さんを始め、多くの皆様から応募（応募枚数585枚）をしていただき、選考に苦慮いたしました。

作品の選考方法は、古里まつりに展示（優秀作品14枚展示）し、来場者の投票により決定した作品を採用いたしました。【はっぴの正面左は、ふるさと・右は、西高屋と記入されています】

（作品の名『にしやん』作品の意味左手の鉛筆は、**学び**を表し、右手の稲穂は**実りある生活**を表す